

構造医学ニュース

構造医学研究所が15周年記念祝賀会を開催

日本構造医学研究所は8月26日、熊本市のニュースカイホテルで、設立15周年記念研究会および祝賀会を開催した。主催は同研究所から巣立ち独立していった人たちがつくる構造医学同門会。出席者は同門会関係、研究所関係、協会関係者のほか、東京地区の合宿セミナー修了者など約200人。

祝賀会に先立って行われた講演会では、吉田先生が2千年に及ぶ思想史の流れをわかりやすく概説し、構造医学の基本的意味を思想史的観点から説いた。構造医学の「構造」は狭義の構造主義とは本質的に違い、自然界にあるものが相似的につながる関係にあることから出てきた考え方で、いわば、生命関係主義であるとしている。

講演会の後、認定証の授与式が行われ、構造医学の研究に日頃から尽力した人たちに、基礎研究課程修了の認定証と記念バッジが贈られた。

引きつづき祝賀会では、まず吉田先生があいさつに立ち、15年を振り返って、構造医学が医療に限らず、さまざまな分野に波紋を投げか



構造医研設立15周年記念で認定書が贈られる

け、影響力をもちはじめていること、なんらかの形で構造医学の研究に関わっている人たちが全国で1万人近くに達したことなどを報告し、「ここまでこれたのもひとえに皆さんの協力があったからこそ」と感謝の辞を述べた。

つづいて構造医学の勉強をはじめて10年になるという進整形外科医院院長の進英文医博、同門会の世話役で熊本県柔道整復師会副会長の高橋安則氏らが祝辞を述べた。また、親子合わせて武道総有段数45段という楊名時太極道連盟・鹿児島県気功太極道友好会会長の前田篤香、同師範の前田篤宏氏が太極拳演舞「白鶴の舞」を披露、祝賀会の雰囲気盛り上げ、拍手喝采を浴びた。